

京都大学医学部附属病院

研修医の1日

A Day of the Resident

京大病院研修医の
1日を密着レポート!

西 克幸 医師

出身大学: 奈良県立医科大学
大学時代のクラブ: 野球部
現在: 免疫・膠原病内科ローテート中たくさんの同期と
日々、切磋琢磨中!!密着
スタート

8:30

出勤&ミーティング

出勤したら、まずは指導医や看護師とミーティング。
入院患者さんの情報を共有します。

9:30

回診

続いて受け持ち患者さんの回診。この日は
点滴のライン確保が多く、手際の良さが求められます。重症の患者さんも多
いので、血管の傷み
が激しい方は場合は
時間がかかることも。

12:00

「はんなり」で昼食

オススメは栄養バランス
の良い日替りランチ。安く
て美味しい!!病院の職員食堂「はんなり」で
仲間と昼食。この日は時間がな
かったので、カレーを注文。合間に
同期たちと
バシャリ!!

11:00

「地域ネットワーク医療部」とディスカッション

慢性疾患患者さんのリハビリ転院や在宅調整などにつ
いては、ソーシャルワーカー部門との連携も重要。日頃から、
積極的に意見・情報を交換しています。

10:00

感染制御部とディスカッション

独立した感染制御部(ICT)があるのは京大病院の特長
のひとつ。免疫・膠原病内科は感染症患者が多いので、
ICTと連携して仕事をする機会が多くあります。

13:00

関節エコー検査

リウマチを患う受け持ち患者さんの関節エコーを実施。上級
医の中坊周一郎先生による指導の下、検査手技を実践です。患者さんからは
「とてもしっかり
した良い先生」と
高評価!!

17:00

救急当直

実は当直など救急外来の研修も充実しているのが、
京大病院の強み。この日は除細動器についての研修
を実施。自身の学びと併せ、上級医の鈴木崇生先生
とともに1年目の研修医の指導も経験。

19:00

本日の取材完了

最後に取材に
協力していただいた
指導医の先生方と
バシャリ!!

お疲れ様でした!!

14:00

中間指導医による講義

勉強会は日々の臨床
の課題解決に向けた
ヒントを得られる貴重
な場!!この日は免疫・膠原病内科の片山昌紀
先生による「膠原病治療の現在・過去・
未来」という題目の勉強会を実施。

15:30

リハビリテーション部と
ディスカッション今度は理学療法士、作業療法士、言語聴覚士とミーティング。
免疫・膠原病内科では関節・筋疾患を扱うため患者のADL
低下が心配され、積極的なリハビリが重要です。ちょっと
眠い...!?今回の取材をとりまとめていただきました
免疫・膠原病内科 吉藤 元 先生▶本院には全国的にも著名な医師が多数在籍して
います。そうした先生方から教わるのは研修医
にとって貴重な経験となるでしょう。専門性の高
さ、症例の幅広さは大学病院ならではの。学術面
でも力を発揮できる環境で、臨床・研究の両面
で自分を高められます。

取材協力: 免疫・膠原病内科、感染制御部、救急部



臨床研修に関する問い合わせ先

京都大学医学部附属病院
総合臨床教育・研修センター

TEL 075-751-4839

E-mail sotsugo-kyt@umin.ac.jp

京都の臨床研修病院情報はもちろん! 医学生・医師向けの医療情報は

「京都に緑のある医師との絆ネット」

<http://www.pref.kyoto.jp/drkyoto/kmcc/>

メルマガも配信中!

KMCC

京都府地域医療支援センター

TEL 075-414-4721

E-mail iryo@pref.kyoto.lg.jp